

47都道府県プロフィール
2024年1月～2024年06月

宮城県

宮城県内の外国人労働者、過去最多の1万6586人

2024/02/11

宮城労働局は1月26日、2023年10月末時点の宮城県内の外国人労働者数は前年比12・2%増の1万6586人で、届け出義務化の07年以降、過去最多となったと発表した。更新は2年連続。コロナ禍の入国制限で一時減少していたが、国内の労働力不足などを背景に、外国人労働者の存在感が再び高まる傾向が明らかになった。同局が外国人を雇う事業主からの届け出状況をまとめた。前年比では労働者数は1808人、雇用する事業所数は155カ所増えた。事業所数も5・7%増2872カ所となり、過去最多を更新した。

朝日新聞デジタル > 宮城県内の外国人労働者、過去最多の1万6586人 > 写真・図版



<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20240210003993.html>

「日本人と同等」に 外国人労働者の権利保護

2024/02/20

厚生労働省は1月26日、日本で働く外国人の数が、2023年10月時点で約204万9000人と発表した。前年から約22万6000人増え、初めて200万人を超えた。この日本の外国人労働者政策が大きく変化しようとしている。18年に創設された在留資格「特定技能制度1号・2号」のうち特定技能2号を、昨年6月に2分野から11分野に拡大した。特定技能制度は、国内人材を確保することが困難な状況にある産業分野で、一定の専門性・技能を有する外国人を受け入れることを目的とする制度だ。



日本人とともにネギを収穫するベトナム人技能実習生（右）＝福岡県糸島市で2022年2月17日、今野悠貴撮影

<https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20240219/pol/00m/010/005000c>

介護事業者と技能実習生支援団体マッチング相談会

人手不足が深刻な介護分野の人材を確保しようと、
仙台市で25日、県内の介護事業者が集まって外国人技能実習生などを支援している団体と受け入れ条件などを話し合う相談会が開かれました。この相談会は、介護事業者と外国人技能実習生などを支援する団体をマッチングしようと、仙台市が企画しました。会場には団体ごとにブースが設けられ、介護事業者の担当者が訪れて受け入れる実習生についての専門性や語学力、人材を確保するための費用などについて相談していました。

2024/03/26



<https://www3.nhk.or.jp/tohoku-news/20240326/6000026950.html>

育成就労の外国人労働者に日本語の壁 地方ほ ど乏しい教育の場

2024/03/15

政府が15日に閣議決定した技能実習に代わる在留資格「育成就労」によって、未熟練の外国人労働者の受け入れ増加が見込まれる中、「言葉の壁」への対応が課題として浮上している。仕事や生活に必要な日本語を身につけてもらう環境が地方を中心に未整備で、政府や自治体、就労先の対応が問われている。



宮城県内の自宅から、秋田県由利本荘市に暮らす技能実習生向けオンライン授業で日本語を教える日本語教師の吉田環さん＝本人提供

<https://mainichi.jp/articles/20240315/k00/00m/040/317000c>

日本語教育の支援充実を 技能実習に代わる外国人材受け入れの育成就労

法案で地方公聴会

2024/05/13

技能実習に代わる外国人材受け入れの新制度「育成就労」創設に向けた関連法改正案を審議する衆院法務委員会は13日、宮城、群馬両県で地方公聴会を開いた。出席者は「外国人材がいなければ地域が成り立たない」と主張。定住促進に向け、国の支援による日本語教育の充実を求める声が上がった。製造業の人手不足を背景に、1990年代から日系ブラジル人らを多数受け入れてきた群馬県大泉町。大泉国際交流協会の糸井昌信会長は、日本語を理解できないため地域になじめず、子どもの進路に影響が及ぶケースもあるとし「格差社会が生じている」と指摘した。



外国人材受け入れの新制度「育成就労」について審議する衆院法務委員会の地方公聴会 = 13日午後、前橋市

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1149779/>

県内7ヵ所の介護施設の職員さんに「やさしい日本語講座」

2024/04/01

宮城県介護特定技能外国人受け入れ支援事業で、当校が入国前の日本語指導を担当させていただいておりました。いよいよ入国、勤務先の職員さんに、本講座をご受講頂きました。職員の皆さんがわかりやすい日本語、「やさしい日本語」で会話することで、早くコミュニケーションを取ることができます。その有用性を理解していただき、多くの参加者のみなさんがすぐやさしい日本語に言い換えされていらっしやいました。日常的に利用者様に寄り添い語り掛けていらっしやる皆さんの様子が伺えました。



インドネシア人技能実習生を大崎市（宮城）の工場に不法就 労させた罪 人材派遣会社・元社長に懲役1年・執行猶予3年

去年、宮城・大崎市の工場でインドネシア人の技能実習生を不法就労させた罪に問われた会社の元社長が、仙台地裁から懲役1年・執行猶予3年の判決を言い渡された。起訴状などによると、茨城県坂東市の人材派遣会社・元社長 鈴木達也被告（61）は去年8月～10月にかけて、在留期限が過ぎているなどのインドネシア人技能実習生4人を大崎市の工場に派遣し、不法就労させた罪に問われている(出入国管理及び難民認定法違反)。18日の判決公判で、仙台地裁の米 満祥人裁判官は「出入国・在留管理行政を害する悪質な犯行」として、鈴木被告に懲役1年・執行猶予3年と罰金120万円を言い渡した。



<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1149779/>

盗品には“旧紙幣”も ガスバーナー使用し「空き家」に侵入・ 窃盗を繰り返したか ベトナム人2人逮捕 背景にある問題

2023/11/25

宮城県警によると、2人は2023年11月に盗み
目的で宮城県加美町の空き家に侵入し、敷地
内に止めてあった軽乗用車のナンバープレ
ート2枚を盗んだ疑いがもたれている。 2人は
ガスバーナーで熱した窓ガラスをバールで破
り、鍵を開ける手口で、侵入・窃盗を繰り返
していたとみられる。警察の担当者によると、
窓ガラスを熱することで、周囲にガラスを割
る際に、その音が聞こえにくくなるという。



<https://www.fnn.jp/articles/-/648009>